



今年で39回目 まつどの梨®100箱寄附

松戸市観光梨園組合連合会及び松戸市梨研究会の加盟園のご厚意により今年もまつどの美味しい梨が松戸市に100箱寄附されます。

寄附された梨は、この時期旬の幸水及び豊水で大変人気の高い品種で、市内福祉施設の皆様に、樹で完熟したおいしい「まつどの梨®」をご堪能いただきます。

梨の寄附は、1983（昭和58）年に松戸市観光梨園組合連合会設立20周年を記念して、松戸市に感謝の意を込め100箱の梨を寄附したのが始まりです。今年で39回目の寄贈となります。寄贈された梨は市内福祉施設等に配られ、施設入所者から毎年感謝の言葉が寄せられています。

●寄付者 松戸市観光梨園組合連合会 会長 高橋 治（たかはし おさむ）様
松戸市梨研究会 会長 渡来 一弘（わたらい かずひろ）様

●寄附内容 幸水および豊水梨5kg入り100箱

●寄附式典 日時 令和4年8月25日（木）8時45分～9時30分

会場 松戸市役所新館5階 市民サロン

次第 出席者紹介、梨の贈呈、写真撮影、松戸市観光梨園組合連合会
会長及び松戸市梨研究会会長挨拶、松戸市長挨拶

●松戸市観光梨園組合連合会について

昭和38年、二十世紀梨の原産地であり、最適の沃地で味覚日本一と言われる高塚、五香六実地区の二十世紀梨を中心とする梨畑は40ヘクタールあり、この名産品をレジャーブームに結び付け増産を図りたいとの地元からの要望にあわせ、生産者と商工課・農政課で話し合いを重ね、梨もぎ取り園の視察を行い、観光梨園の造成を計画し、観光梨園組合が発足しました。

初代会長には当時の農業委員長を務めていた野口源治氏が就任し、2代目に齋藤清氏、3代目に渡来治兵衛氏、4代目に真嶋誠一氏、5代目に真嶋昇氏、6代目に渡来和治氏で、7代目に現会長の高橋治氏が平成27年6月に就任しました。

令和4年7月現在で松戸市観光梨園組合連合会の会員数は47園。地区は大きく分けて3地区で、高塚地区32園、五香・金ヶ作地区8園、六実地区7園となっています。

【本件に関する問い合わせ先】

〒271-0073 千葉県松戸市小根本7-8 京葉ガス F 松戸第2ビル5階
松戸市経済振興部にぎわい創造課 ☎047-366-7327
FAX047-711-6387 ✉mcnigiwai@city.matsudo.chiba.jp